

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ホンジュラス日本大使館

記入日 2013年1月9日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：ホンジュラス建設産業商工会議所 統計速報

URL：(インターネット上での公表はされておらず、印刷物(冊子)のみでの発行。
発行頻度は四半期ごと。首都及びサンペドロスーラ(「ホ」第1の商業都市)
における建設資材の価格、品質等の統計が掲載されている。)

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向(改正等がなければ記入不要)

2011年8月17日、公共事業及びサービスの実施、開発及び運営においてコンセッション方式の導入に関する「官民連携推進法」が発効した(同年12月21日、同法の細則が発効)。また、2011年5月27日、「投資推進及び保護法」が発効した(細則は未発効)。関連資料(スペイン語及び英語版)は、官民連携推進委員会(COALIANZA)のホームページにおいて閲覧可能。

(URL：<http://coalianza.go.hn/documentos-de-interes/>)

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	「政府は、カリブ海沖における油田開発のため、英国企業のBGグループと交渉を実施中」：「ホ」カリブ海沖の油田開発に関し、現在、「ホ」政府が英国企業のBGグループと交渉中である旨、ロボ大統領の発言を引用して報道。また、同油田開発の対象となる海域の広さは3.6百万ヘクタール、投資の規模は約2億米ドル、現在同企業との契約締結の承認手続き中である旨クエジナル環境・天然資源(SERNA)大臣の発言を報道。	2012/11/9 ラ・プレенса 紙	あり(なし)

2	<p>「テグシガルパ市役所は、2013年1月に「トランス450計画（専用路線に大型バスを走らせる計画）」第1フェーズに関する入札手続きを開始予定」：全長7.58kmの区間に専用路線を建設し、大型バスを通行させる総額3,300万米ドル（内3,000万米ドルはIDBの融資、300万米ドルはテグシガルパ市役所の負担）の「トランス450計画」の第1フェーズの入札手続きの開始時期を2013年1月に予定している旨報道。</p>	<p>2012/12/13 エル・エラルド紙</p>	<p>あり/なし</p>
3	<p>「政府は、パルメローラ国際空港建設のための国際入札の準備を開始」：スペインのALGエウロプラクシス（Europ r a x i s）企業により2013年1月中に入札図書を作成し、同年6月に落札業者が決定する計画のもと、現在、パルメローラ国際空港建設のための入札の準備を行っている旨のピネダCOALIANZA代表の発言を報道。同空港は、パルメローラ空軍基地内の滑走路の利用を想定しており、空港ターミナル及びアクセス道路の建設等を目的とした少なくとも約1.3億米ドルの投資が必要と推定され、中国及び韓国の企業が同計画に関心を示している旨報道。</p>	<p>2012/11/26 エル・エラルド紙</p>	<p>あり/なし</p>
4	<p>「ヨルダン政府は、再生可能エネルギー等に関する「ホ」への投資について関心表明」：11月30日、ファリス・グスタボ・エルマディ・ヨルダン王室顧問及び王室メンバーを含む同国の調査団がホンジュラスを訪問し、「ホ」民間企業連合（C o h e p）と協議し、「ホ」北部のプエルト・コルテスにおける再生可能エネルギー変電所の建設に対する総額100万米ドルの投資、並びに、その他地域における治安及び通信などへの投資への関心を表明した旨報道。</p>	<p>2012/12/1 ティエンポ紙</p>	<p>あり/なし</p>
5	<p>「政府は、COALIANZAを通じ、プエルト・コルテス港のコンテナ・ターミナルのコンセッション契約に関する入札手続きを実施中」：プエルト・コルテス港のコンテナ・ターミナルのコンセッション契約に関する手続きは、現在、入札に関心を表明した企業の事前資格審査の段階にあり、同審査を通過した企業のみが技術及び財務に関する入札書類を提出することが可能で、2月1日に開札が予定されている旨報道。現在事前資格審査段階にある企業は、ドバイ・ポート・ワールド（Dubai Port World）（アラブ首長国連邦）、ハチソン・ポート・ホールディング（Hutchison Port Holdings）（香港）及びマエルスク（Maersk）（デンマーク）等である。</p>	<p>2012/12/10 エル・エラルド紙</p>	<p>あり/なし</p>

6	<p>「テグシガルパ市役所は、高速道路の建設を目的に国際金融公社（I F C）に融資を申請」：首都のトンコンティン国際空港からフェルサス・アルマーダス通りを結ぶ全長約400メートルの高速道路の建設に関し、国際金融公社（I F C）による4,900万レンピーラの融資が近日中に承認される予定とのアルバレス・テグシガルパ市長の発言を報道。</p>	<p>2012/12/10 ラ・トリブナ紙</p>	<p>ありなし</p>
7	<p>「政府は、英国企業のBFグループ社とカリブ海沖における油田開発に関するM o Uを締結」：12月11日、クエジャル環境・天然資源（S E R N A）大臣は、ロボ大統領の立ち会いのもと、英国企業のBFグループ社とモスキティア海域における油田開発に関するM o Uを締結した旨報道。</p>	<p>2012/12/11 大統領府プレスリリース</p>	<p>ありなし</p>
8	<p>「政府は、ウーラ丘の風力発電施設の拡張計画に関する契約を締結」：12月13日、カルドナS E R N A副大臣／「ホ」電力公社（E N E E）理事会会長及び株式会社「ホ」風力発電社（E E H S A）社長は、E E H S Aがウーラ丘に所有する、現在E N E Eに102MWの電力を提供している風力発電施設の拡張計画に関し契約を締結した。同契約を通じ、E E H S A社は、2MWの発電可能なタービンの数を、現在の51個から68個へと増加し、合計127MWのクリーン・エネルギーの発電を計画、投資額は6,300万米ドルと推定、拡張工事完了時期は2013年6月予定との報道。</p>	<p>2012/12/13 ラ・トリブナ紙</p>	<p>ありなし</p>
9	<p>「中国企業と「ホ」企業が、炭素クレジットの創出を目的とした計画に関するM o Uを締結」：北京G E D東洋技術開発（O r i e n t T e c h D e v e l o p m e n t）社（中国企業）と「ホ」G G社は、「ホ」のオランチョ県、コロソ県、ジョロ県、フランシスコモラサン県、ラパス県、レンピーラ県、コパン県及びモスキティア地域における総面積2.7百万ヘクタールにおいて、炭素クレジットの創出を目的とした計画に関するM o Uを締結した。同計画の初期投資額（最初の2ヶ月間）は6,000万米ドル、5年間で総額1.6億米ドルに及ぶと推定。G E D社関係者は、同計画の開始時期を2013年2月と見込む。本計画を通じて、計画開始当初に約30万人の雇用を創出し、5年間で政府が得る税収は20億米ドルに及ぶとの報道。</p>	<p>2012/12/13 ラ・プレササ紙</p>	<p>ありなし</p>

10	<p>「政府は、韓国企業より、グアセリケ I I ダム建設 F / S 計画報告書を受領」：アルバラド S A N A A 総裁は、グアセリケ I I ダム建設計画に関し、12 月 14 日、韓国政府の支援のもと韓国民間企業 2 社により更新された同計画 F / S 調査の報告書を受領した旨述べた。同報告書によると、ダムの計画貯水容量は 75 百万 m³、建設費用総額は 1.88 億米ドル。S A N A A は、2013 年より、同資金調達を目的に国際機関等に働きかけを行う予定の報道。</p>	2012/12/15 ラ・トリブナ紙	あり/なし
11	<p>「政府は、「ホ」北部地域をクリーン・エネルギー生産重点地域とする政令を承認」：12 月 18 日、閣議において、バジェ・デ・スーラ地域（当館注：サンペドロスーラ市、プエルトコルテス市、プログレソ市、ビジャヌエバ市、チョロマ市等を含む地域。）をクリーン・エネルギー生産重点地域とする政令が承認された。アフリカン・パーム椰子の廃棄物を用いた 220 MW の発電及びエルタブロン・ダムの建設（建設費用は 4 億米ドル）を通じた 20MW の発電等が計画されている旨報道。</p>	2012/12/19 ティエンポ紙	あり/なし
12	<p>「ロボ大統領は、風力発電に関する合意文書 3 種に署名」：20 日、ロボ大統領は、風力発電に関する合意文書 3 種に署名した。内 2 つは、 Cholteca 県サンマルコスデコロロン市に位置するサンマルコス風力発電所及びチンチャヨテ風力計画、もう 1 つは、ウーラ丘に位置する風力発電施設の拡張計画である。サンマルコス風力発電所については、風力電気会社 (V i e n t o s d e E l e c t r o t e c n i a) により、23 個のタービンを通じた 49MW の発電が計画され、投資総額は 1.3 億米ドル。チンチャヨテ風力計画については、サンマルコス風力会社 (V i e n t o s d e S a n M a r c o s) により、45MW の発電が計画され、投資総額は 1.7 億米ドル。これらは、2013 年に建設が予定されており、同計画が完了した暁には、E N E E は同社より 0.148 米ドル / K W / 時間で電力を購入する予定である旨報道。（ウーラ丘の風力発電施設拡張計画については、12 月 13 日付ラ・トリブナ紙を参照。）</p>	2012/12/20 大統領府プレスリリース	あり/なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

- (1) 2012年11月27日の閣議において、採取産業透明性イニシアティブ（EIT）へのホンジュラス国の参加に向けた取組に関する政令が承認された。
- (2) 2012年4月、銀行口座を通じた取引、並びに、鉱業、ファーストフード及びカジノ等に対する新たな課税（通称「治安税」）が導入された。
- (3) 2012年4月、財務省内に公共インフラ・プロジェクト財務エージェント・ユニットの創設を通じた、公共インフラ・プロジェクトのあらゆる財務手続きの監督及び支援を目的とした「公共インフラへの投資手続き簡素化のための特別措置法」が発効した。
- (4) 2012年12月、税収増加を目的に、以下2種類の法案が国会において承認された。
 - ① 「ホ」国に居住しない個人及び法人が、「ホ」国内で得た所得（給与、コミッション、採掘事業からのロイヤリティ、印税、特許、商標、著作権等）に対して、25%の所得税が課税される。（これまでは10%。）
 - ② 発電を目的とした石油燃料の輸入税に関し、これまでの免税措置から還付制度に変更。
- (5) COAL IANZAのHPに掲載されている今後実施予定の主要事業リストを別添する。

官民連携推進委員会（COALIANZA）のHPに掲載されている
今後実施予定の主要事業リスト（2013年1月8日時点）

	事業名	概要
【エネルギー】		
	タマラ水力発電計画	投資推定額は4,000万米ドル。
	「ホ」南部の Cholteca 河流域の洪水管理及び農業開発	サンフェナンド・ダム建設、1.2MWの発電能力施設の設置、3万ヘクタールの農地における灌漑システム及び洪水管理を目的とした排水システムの設置等。
【空港】		
	パルメロラ空港	コマヤグア県に位置するパルメロラ空港における旅客及び貨物ターミナルの建設及び拡張工事等。投資推定額は1.3億米ドル。
	レンピーラ県グラシアス飛行場	飛行場の建設。投資推定額は400万米ドル。
	コパルイナス飛行場	飛行場の建設。投資推定額は400万米ドル。
	テラ飛行場	飛行場の建設。投資推定額は400万米ドル。
	プエルトカステージャ飛行場	飛行場の建設。投資推定額は400万米ドル。
【インフラ】		
	サンペドロスーラ刑務所	刑務所の建設。投資推定額は1.1億米ドル。
	テグシガルパ外傷患者専門病院	テグシガルパに、外傷患者の処置を専門とする病院の設計及び建設。投資推定額は4,825万米ドル。
	サンペドロスーラ外傷患者専門病院	サンペドロスーラに、外傷患者の処置を専門とする病院の設計及び建設。投資推定額は3,590万米ドル。